

## 修了評価の方法

評価基準作成者：高橋 秀政

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲 「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から 「(9) こころとからだのしくみと生活支援技術」までとする。</p> <p>2 出題形式 五肢択一形式</p> <p>3 出題数 択一問題 41 問 (配点 100 点) 0.5 点×5×36=90 点 2点×5=10 点 全問正解：100点満点</p> <p>4 合否判定基準 60点以上 (6割以上)</p> <p>5 不合格になったときの取扱い 結果発表後、補習のうえ再評価を行う。 なお、再評価に係る合格基準は6割以上とする。 補講料、再試験料は原則無料とする。(但し受講生の態度が著しく悪い場合は補講料徴収或いは解約を申し出る場合がある(その場合受講料の返還は行わない) なお、再試験の結果、不合格であった者には修了評価者が個別指導を行い合格判定基準に達するまで行なう。 但し、研修の修了年限8ヶ月以内とする。それ以上になる場合は修了証明書の発行は行なわない(受講料の返還も行なわない)</p>
------------	---